

SPECIAL REPORT

卓越した技術と豊富な経験を武器に ハイレベルの治療を提供する 日本初の“不整脈専門クリニック”

東京ハートリズムクリニック

東京ハートリズムクリニック(東京都世田谷区)は、2016年9月に開院したばかりの16床の有床診療所です。同院の大きな特徴は、国内でも前例がない“不整脈治療に特化した専門クリニック”であることです。まだ新しい治療であるカテーテルアブレーションに強みを発揮し、開業間もないにもかかわらず、すでに全国から患者さんが訪れています。

今回は、勤務医として長く不整脈治療に携わり、3,000症例を超える実績を持つカテーテルアブレーションのトップランナーの一人である、院長の桑原大志先生にお話を伺いました。

不整脈治療に特化した運営により 効率的で質の高い治療を実現

——まず、不整脈とその治療について簡単に教えていただけますか。

桑原院長(以下敬称略) 不整脈とは脈拍が速くなったり、遅くなったり、乱れたりする病気です。治療の必要性がないものから命にかかわるものまであります。問診、心電図、ホルター心電図、心エコー検査、電気生理学的検査を実施し、正しい診断を下します。不整脈の治療方法には、薬物治療、ペースメーカー治療、カテーテルアブレーション(以下、アブレーション)の3つがあります。当院ではこれらすべての治療を行っていますが、中心に行っているものはアブレーションです。

——アブレーションとはどのような治療なのか。

桑原 アブレーションとは、不整脈の原因となる部位を探し出し、そこにカテーテルを押し当て、高周波通電を行い、焼灼して不整脈を根治する治療のことです。現在当院で行っているアブレーションの対象の8割は“心房細動”です。その他は、心房粗動、発作性上室性頻拍症、心室性期外収縮、心室頻拍などです。

日本における心房細動患者数は170万人で、治療の必要な不整脈の中で最も多いものです。脳梗塞になる可能性が洞調律の人の5倍高く、心不全を発症するリスクもあり、臨床的に重要度の高い不整脈と言えるでしょう。

私が医師になった頃、この不整脈に対する治療は対症療法の薬物療法しかありませんでした。しかし、1998年にボルドー大学のハイサゲール医師が、心房細動起源の多くは肺静脈内に存在することを明らかにし、そこを電氣的に隔離することで根治可能であることを発表しました。そのボルドー大学に留学していた高橋淳先生とその師の家坂義人先生が、ハイサゲール医師が発案した方法をさらに発展させた広範囲肺静脈隔離法を考案し、それが現在世界中の心房細動アブレーション法の主流となっています。私はその高橋淳先生から横



東京ハートリズムクリニック
院長

桑原 大志 先生

須賀共済病院(神奈川県横須賀市)でアブレーション治療全般の薫陶を受けながら研鑽を積みました。横須賀共済病院は、日本で初めて、年間1,000症例を超えるアブレーション手術を行った病院です。その病院で多くの不整脈治療を経験しました。

——貴院は日本初の不整脈治療専門クリニックですが、不整脈治療に特化することでどのようなメリットがあるのでしょうか。

桑原 すべての経営資源を不整脈診療のみに投入できるので、高額な精密医療機器も購入可能です。また、全スタッフが毎日、不整脈を専門に扱うわけですから。医師だけではなく、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士も、それぞれの領域で不整脈専門知識、技術が向上し、診療の質が高まります。結果的にそれは、治療成功率の上昇、合併症の減少につながっていきます。

——そのようなメリットがあるにもかかわらず、不整脈治療を専門に扱うクリニックが他にないのはなぜなのでしょう。

桑原 アブレーション自体がまだ新しい技術ですから、それに習熟している医師が多くないことが理由のひとつでしょう。また、アブレーションでは心臓を傷つけてしまうリスクがある点を考えると、心臓外科のサポートが必要になります。そうすると、心臓外科医はもちろん、手術室やスタッフ、設備など莫大な費用がかかりますので、個人が開業するには難しい。私の場合、3,000症例以上のアブレーションを経験しています。合併症を限りなくゼロにするために、徹底して研究しました。また、仮に合併症が起きたとしても、緊急で安全に処置が可能な技術も身に着きました。そこで、心臓外科を持たずに専門クリニックを開業する決断をしました。もちろん、万が一の場合は近隣の心臓外科専門病院にサポートしてもらおう、連携体制は整えています。

——開業して約半年ですが、運営状況はいかがでしょう。

桑原 概ね開業前の予想どおりですね。開業にあたって地域の医療機関に挨拶に回ったり、ホームページでPRしていることもあり、来院されるのはほとんどが不整脈の患者さんです。アブレーション治療は現在、週5~8例のペースで実施していますが、それでも1カ月待ちの状態です。お待たせするのはたいへん申し訳ないのですが、まだ今

▶ 図1 桑原医師の治療実績

カテーテルアブレーション治療	3,000件以上
ペースメーカー植え込み術	200件以上
発作性心房細動患者根治率	90~95%
慢性心房細動患者根治率	80~90%

桑原先生が前任の横須賀共済病院時代に実施した手術等の件数及び治療成績。